

# Scouting Ibaraki

2014 vol.40

## 秋の高萩スカウトフィールドは大賑わい 「森の学校(シルバーアックス)」開校



11月2日から3日、大和の森「高萩スカウトフィールド」において、GB(グリーンバー)の集いが開催されました。県内各団のボーイ隊GB(班長・次長)スカウト45名と引率指導者21名が参加し、「シルバーアックス」という名の「森の学校」を集いの中に組み込み、県内外のその道のエキスパートである指導者が知識や技能を伝授しました。プログラムには、「10の専門教室」が設けられた他、キャンプファイヤーやGBミーティング等が組み込まれ、GBとしての知識を習得す

るとともに、班に帰っても自信を持って班のスカウトに披露・指導できるようなやや高度な技能を身につけることをねらって実施されたものです。一方、引率指導者に対しても、スカウティング基本セミナー「進歩制度」の解説プログラムを用意し、その中で「GBの育成」「班の確立」等についてディスカッションし、理解を深めることができました。参加したスカウトからは、「大変良かった」「GBとして自信がついた」等の評価を得ましたが、今後の各隊での「GBの育成」をどう進めるかが今後の課題となりました。

また、2日の開会式には、ボーイスカウト振興茨城議員連盟より、県議会議員2名、高萩市より3名の関係者に参加いただき、事業内容を理解いただくことができました。



## 高萩スカウトフィールド見学ツアー開催される

県連盟主催の「高萩スカウトフィールド」見学ツアーが11月3日に開催されました。本事業は、ボーイスカウト振興茨城議員連盟のご援助により企画・立案されたものであり、参加人数は「つくば第3団」カブ隊13名と他団の指導者3名でありました。参加者は、チャーターバスにより高萩駅よりスカウトフィールドに到着し、当日開催されていた「GBにつどい」の見学とスカウトフィールドでの丸太切プログラムに挑戦するとともにスカウトフィールドの広大さを実感し、有意義な見学ツアーとなりました。見学ツアーは、今後も継続して実施される予定です。



日本ボーイスカウト茨城県連盟 <http://www.scout-ib.net>

# 「いばらき教育の日」推進事業「高萩自然体験教室」

## 高萩市の児童がボーイスカウトプログラムを体験



11月3日に高萩自然体験教室が県連盟が主催、「いばらき教育の日」推進協議会の共催、高萩市および高萩市教育委員会の後援により市内の「高萩森林公園」で開催されました。本教室は、牛久第2団および第1地区各団指導者の協力により、高萩市内の児童にボーイスカウトのプログラムを体験してもらうことを目的に企画・運営が行われました。

参加者は市内の小学生13名が公募によりあつまり、低学年と高学年の2班に分かれ、テント設営、ロープ結び、モンキーブリッジ等プログラムに果敢に挑戦

しました。参加児童からは「楽しかった」「面白かった」「怖いものがあったが満足できた」「また参加したい」等々の声があり、好評のうちに天気にも恵まれた「高萩自然体験教室」は終了することができました。本事業は、今後も継続実施し、高萩に団復活の足掛かりに是非したいと心に誓った次第です。



## ベンチャーラリー in TAKAHAGI 2014

第6回ベンチャーラリーは、9月21日に高萩市内を会場に5チーム14名の参加により、実施されました。

コースは、高萩駅前を集合・出発の半径10kmの範囲で、エリア内には名所旧跡、寺社、各種施設等からなる60のチェックポイントを設定しました。当日は、好天に恵まれ、開会式後9時30分に出発し、6時間にわたる競技に組み組み大変満足したベンチャーラリーでした。

回を増すごとに徐々に参加者も増えてきていますが、初参加チームの中には競技内容を十分理解しないまま参加しているチームもあり、事前の組み組みの必要性が感じられ、今後の課題となりました。

参加者の声としては、「楽しかった」「またやりたい」「次回こそは」等が多くあり、ベンチャー年代にあったプログラムが提供できたと感じられました。

## 平成26年度「チャリティーゴルフ大会」開催

維持財団主催による、チャリティーゴルフ大会が11月6日富士カントリー笠間倶楽部で開催された。当日は52名が参加があり、新ペリア方式による順位を競い合いました。また、ワンオンコンテスト、ニアピンホールも設けられ悲喜こもごものプレーが続けられました。また心配された天候も暑くも寒くもない



ゴルフ日和となり、普段の実力を遺憾なく発揮できた楽しい一日でありました。

本大会の開催により、参加者の方々のみならず、加盟員の方からも賞品およびチャリティー金のご寄付が寄せられ、多額の収益金については、ボーイスカウト活動の援助として活用したいとの旨で、大会を無事終了することができました。ご協力ありがとうございました。



## 維持財団との合同懇談会を実施

9月20日に県立青少年会館において、ボーイスカウト茨城県連盟維持財団と茨城県連盟との合同懇談会が開催されました。

初めに維持財団三浦常務理事より、今年度の財団の事業報告がなされ、続いて山田県連盟理事長より、県連盟の事業報告が行われた後、



懇談会に入りました。

懇談会の中では、スカウト用品販売の状況と今後の取扱につ

いて、日本連盟維持会費の現況や県連盟備品倉庫について、第23回世界ジャンボリーへの参加者の負担について等、率直に意見を交換することができました。また、世界ジャンボリーでのホームステイ受け入れについての状況についても説明し、和やかなうちに懇談会を閉会しました。



## 平成26年度「スカウトの日」県内各地で実施

平成26年度「スカウトの日」の活動が9月に全国一斉に実施されました。

「スカウトの日」は、全国のスカウト・指導者が奉仕活動として、様々な社会貢献活動を全国の各地域において一斉に展開し、加盟員一人ひとりが地域社会に貢献することを目的に実施しています。

県内では各地区で、清掃活動（ゴミ拾い）を通して自分たちの住む町の環境を保全する活動や災害に遭われた人々へ少しでも明るい希望を届けようと支援募金活動も行われました。

この活動を通して、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールするとともに、スカウト・指導者はもとより、地域の方々とともに温かい心を分かち合うことができた一日でした。



参加団数	17ヶ団
参加総人数	638名
拾ったゴミの数	空き缶：1,123個 ペットボトル：456個
災害支援募金総額	14,112円



# 「各地区夏の行事」報告

## 第6地区 ボーイ隊での最後のサマーキャンプ 取手第3団ボーイ隊 岡田一希



8月に「那須甲子青少年自然の家」でボーイ隊として最後のサマーキャンプに参加。今回のキャンプでは、さまざまなプログラムを行い、自分よりも年下のスカウトたちと交流しました。オリエンテーリングをおこなった時には、見落とさないようにポイント探しを手伝ってもらったりしました。すると、「次はどのぐらいで着く?」「どの辺りにあるの?」と積極的に参加してくれ、キャンドルサービスのときには、いろいろなゲームで盛り上がり、みんなの笑顔が印象的でした。カブ・ビーバースカウト達と活動して、みんなで同じことをする楽しさを十二分に味わう事が出来ました。

## 第1地区 地区合同夏季キャンプ

8月9日から12日までの4日間、第一地区内5つのBS隊で南蔵王野営場をフィールドに各隊を班に見立てての合同夏季キャンプを実施。各団ともスカウト数の減少により班対抗の場が少なくなっていることから、合同キャンプで日頃の訓練の成果を競い合うことを課題としました。今回の活動は、「BPからの手紙」から始まるプログラムとし、BPがブラウンシー島で実験キャンプを行った頃を思い起こす活動为目标とし、野外料理コンテストやハイキングなど、スカウト達はライバルを意識しながらスカウティングを十分に楽しみ、スカウト活動の楽しさを参加者全員で再確認することができました。



## 第3地区 自然体験教室



5月25日に「県立さしま少年自然の家」で、7月21日に「県立県西生涯学習センター」で、近隣の小学生(合計150名)を集めての「自然体験教室」の奉仕を行いました。第3地区のスカウト、指導者、合計82名も参加し、ロープ結び、野外炊飯、モンキーブリッジ、暗夜行路等、小学校生活では体験できないことを、野外体験で楽しんでもらいました。最後には、ミニキャンプファイヤーを行い、初めて合った友達どうしでのスタンツ等、コミュニケーションの楽しさも体験してもらいました。

参加した小学生達も「楽しかった」、「ご飯を初めて炊いたけど、美味しく炊けた」等、奉仕した甲斐のある声が聞こえて来て、参加スタッフも大変喜ぶことが出来ました。

## 第4地区 カブキャンプ

10月12日、土浦市青少年の家において第4地区カブキャンプが行われ、スカウト57名、指導者43名が参加。これまで、毎年、くまスカウトを対象に「ベアキャンプ」を実施してきましたが、今年度は「カブキャンプ」として、カブスカウト全体を対象を広げ実施しました。

組分けゲーム、組集会の後、世界の旅をテーマに5か所の関所を廻る「関所ハイク」を行いました。それぞれの関所では、各団のリーダーが準備した楽しいゲームにチャレンジ、カブ隊に入隊したてのうさぎスカウトも多数参加してくれ、他の団のスカウトとの交流を楽しそうに活動していました。天気にも恵まれ、スカウト、指導者間の交流ができ、非常に有意義な一日になりました。

